「広島へ行って」

北中学校　一年　佐々木　優人

僕は広島へ行って、貴重な経験をすることができました。広島は世界で唯一の原爆が投下された所です。ですから、何があったのかを一度はこの目で見たいと思い、参加することに決めました。

僕は人生で初めて、原爆ドームと平和記念資料館に行きました。原爆ドームは以前の建物と全く違い、何もかも焼けおちて崩れていました。

資料館の資料も衝撃的な物ばかりでした。八時十五分で止まった時計、火傷で真っ赤になった人の写真、真っ黒のお弁当箱など、罪の無い人が傷つけられていたのだなと思い、悲しさで胸がいっぱいになりました。

そして、次の日に被爆者の方の講話を聞きました。講話では、

「戦争は人の心を鬼にしてしまう」

とおっしゃっていました。その言葉を聞いた

20 × 20

時は、戦争は人の心までもズタズタにしてしまうのだなと思いました。

僕は今回広島へ行き、戦争のむごさ、原子爆弾の悲惨さを知る事が出来ました。僕が思うのは、どんな理由や言い訳をしようと正しい戦争は、絶対に一つも存在しないと思います。

こんなことを二度と起こさないため、後世へ、そして世界へと伝えて行く事が大切だと思います。被爆した方や戦争を経験した方だけでなく、伝えられてきた僕たちも伝えていく事で、平和に少しずつ近づいていくのではないかなと思いました。

20 × 20